

電気機器用コンデンサ

JIS C 4908 : 2007

(JEMA)

平成 19 年 12 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 電気技術専門委員会 構成表

	氏名				所属
(委員会長)	小	田	哲	治	東京大学
(委員)	池	\mathbb{H}	久	利	IEC/SB1 委員(株式会社東芝 電力・社会システム社)
	石	塚	昶	広 隹	社団法人日本原子力産業協会
	大	石	奈酒	赴子	財団法人日本消費者協会
	香	Л	利	春	東京工業大学
	亀	田		実	社団法人日本電線工業会
	近	藤	良大	大郎	社団法人日本電機工業会
	坂	下	栄	$\stackrel{\frown}{\rightarrow}$	IEC/ACOS 委員(技術協力安全センター)
	佐く	マ木	喜	七	財団法人日本電子部品信頼性センター
	佐	藤	政	博	財団法人電気安全環境研究所
	島	Ξ	敏	男	社団法人電気学会
	高	橋	健	彦	関東学院大学
	千	葉	信	昭	社団法人電池工業会(東芝電池株式会社)
	恒	Ш	真	.	社団法人日本電球工業会(東芝ライテック株式会社)
	椿		広	計	筑波大学
	徳	田	Æ	満	武蔵工業大学
	中	村	禎	之	社団法人日本電機工業会
	能	見	和	司	電気事業連合会
	飛	田	恵理	胆子	東京都地域婦人団体連盟
	福	Η	和	典	社団法人日本配線器具工業会(東芝ライテック株式会
					社 電材照明社)
(専門委員)	安	藤	栄	倫	財団法人日本規格協会

主務大臣:経済産業大臣制定:昭和43.12.1 改正:平成19.12.20

官 報 公 示:平成 19.12.20

原 案 作 成 者:社団法人日本電機工業会

(〒102-0082 東京都千代田区一番町 17-4 電機工業会館 TEL 03-3556-5881)

審 議 部 会:日本工業標準調查会 標準部会(部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会:電気技術専門委員会(委員会長 小田 哲治)

この規格についての意見又は質問は,上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準 化推進室(〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査 会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

JIS C 4908 : 2007

電気機器用コンデンサ 解 説

訂正票

位置	誤	E
解説表3(続き)	JIS C 60082-2-6 によって実際の取付け	JIS C 60068-2-6 によって実際の取付けと…。
JIS C 4908(2007)の	٤ ₀	
耐振性の欄		
(58 ページ)		
解説表3(続き)	JIS C 60082-2-6 が IEC 60082-2-6 に該	JIS C 60068-2-6 が IEC 60068-2-6 に該当する。
備考の耐振性の欄	当する。	
(58 ページ)		

訂正票とは、規格本体以外(解説ほか)に対する正誤を表します。

平成20年2月1日作成

目 次

		~-	・ジ
序文		•••••	• 1
1 ;	商用範囲	•••••	• 1
2	引用規格	•••••	• 1
3	用語及び定義 ·······	•••••	• 2
4 1	票準使用状態	•••••	• 5
5 3	過負荷使用条件	•••••	• 5
6 7	重類	•••••	• 5
6.1	用途による種類	•••••	• 5
6.2	素子の構成、密閉構造、保安構造及び放電抵抗器の有無による種類		• 6
7 5	定格		• 6
8 1	生能		• 6
8.1	耐電圧	•••••	· 6
8.2	静電容量		• 6
8.3	絶縁抵抗		• 7
8.4	損失率及び高温損失率	•••••	• 7
8.5	密閉性	•••••	• 7
8.6	耐湿性		• 7
8.7	耐用性	•••••	• 7
8.8	放電性	•••••	• 8
8.9	自己回復性······	•••••	• 8
8.10	保安性		• 8
8.11	機械的性能		• 9
9 1	構造	•••••	• 9
9.1	構造一般		• 9
9.2	素子		10
9.3	ケース		10
9.4	含浸剤		10
9.5	充てん剤	•••••	10
9.6	端子		11
9.7	ブッシング・・・・・	•••••	11
9.8	端子カバー	•••••	11
9.9	取付具	•••••	11
9.10	放電抵抗器		11
9.11	絶縁距離		11
10	試験	•••••	11

	ページ
10.1	試験状態
10.2	構造試験
10.3	耐電圧試験
10.4	静電容量試験
10.5	絶縁抵抗試験
10.6	損失率試験
10.7	密閉性試験
10.8	高温損失率試験
10.9	耐湿性試験
10.10	耐用性試験
10.11	放電性試験
10.12	自己回復性試験
10.13	電動機用コンデンサの保安性試験
10.14	放電灯用コンデンサの保安性試験
10.15	機械的試験
11 枚	美査
11.1	形式検査
11.2	受渡検査
12 増	製品の呼び方
13 著	表示
附属	書 JA(参考)JIS と対応する国際規格との対比表
解言	兑26

まえがき

この規格は、工業標準化法第14条によって準用する第12条第1項の規定に基づき、社団法人日本電機 工業会(JEMA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調 査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、JISC 4908: 1995 は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が,特許権,出願公開後の特許出願,実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に 抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は,このような特許 権,出願公開後の特許出願,実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について,責任は もたない。 C 4908 : 2007

紙 白

日本工業規格

JIS C 4908 : 2007

電気機器用コンデンサ

Capacitors for electrical apparatus

序文

この規格は,2001年に第1版として発行された IEC 60252-1,1999年に第2版として発行された IEC 61048 及び 1991年に第1版として発行された IEC 61049を基に作成した日本工業規格であるが,技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお,この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は,対応国際規格を変更している事項である。 変更の一覧表にその説明を付けて,**附属書JA**に示す。

1 適用範囲

この規格は、主として電気機器に組み込んで用いるコンデンサのうち、商用周波数における定格電圧が 単相交流1000V以下のもので、次に示すものについて規定する。

なお,ここでいうコンデンサとは,電極として蒸着金属膜,金属はく又はこれらを組み合わせたものを 用い,誘電体として含浸した紙,プラスチックフィルム若しくはこれらの複合体,又は非含浸プラスチッ クフィルムを用いたものをいう。

- a) 単相回路で用いる誘導電動機の巻線に接続して用いるもの。ただし、電動機の始動時だけに用いる交流用電解コンデンサには適用しない。
- b) 放電灯回路に接続して力率改善を目的として用いるもの。ただし、力率改善用と同一コンデンサケー スに組み込むが、力率改善を目的としないコンデンサの部分は除く。
 - 注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を,次に示す。

IEC 60252-1 : 2001, AC motor capacitors—Part 1 : General—Performance, testing and rating—Safety requirements—Guide for installation and operation

IEC 61048 : 1999, Auxiliaries for lamps—Capacitors for use in tubular fluorescent and other discharge lamp circuits—General and safety requirements

IEC 61049 : 1991, Capacitors for use in tubular fluorescent and other discharge lamp circuits. Performance requirements

全体評価:MOD

なお,対応の程度を表す記号 (MOD) は, **ISO/IEC Guide 21** に基づき,修正していることを 示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。 これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。